

## 答 申 書 (案)

令和6年3月 日

宇多津町長 谷川 俊博 様

第2次宇多津町総合計画審議会  
会 長 加 野 芳 正

## 第2次宇多津町総合計画(案)について(答申)

令和5年6月30日付5字ま発第142号をもって諮問のあった第2次宇多津町総合計画の策定(基本構想案・基本計画案)について、本審議会において慎重に審議を重ねた結果、別添案として取りまとめたので、下記の意見を付して答申します。

## 記

第2次宇多津町総合計画(案)について、本審議会において諮問に基づき慎重に審議を重ねてきたところであるが、基本構想、基本計画ともに原案の内容については概ね妥当なもの認められる。また、本計画の推進にあたっては、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら、広く町民の理解と協力を求め、計画的な行財政運営を着実に実行し、設定した目標指標の達成のため効率的・効果的な施策の実施に留意されたい。

1. 本計画の趣旨と内容をわかりやすく、広く町民に発信し、共有に努めること。  
また、本計画の推進にあたっては町民の参画、協働を積極的に進め、暮らしやすく、住み続けたいまちづくりに努めること。
2. 社会情勢が今後大きく変化していく中で、基本計画の見直しを行いながら的確な施策展開が求められている。第2次宇多津町総合計画の基本構想に掲げた、将来像「人生120年 賑わいと思いやりが紡ぐ 日本で一番住みやすい町 うたづ ～「近き者悦び 遠き者来たる」みんなでつくる我が町～」を実現していくためには、基本理念に基づき、地域・団体・行政との連携をさらに深め、協働によるまちづくりを一層推進していくなど、ポストコロナ社会を踏まえた持続可能な住民ニーズへの対応に努めること。
3. 将来像を実現するにあたって、計画に掲げた6つの重点プロジェクトは要となる取組であり、住民が自主的に参加できる環境づくりとともに、全庁横断的に取り組み、実現性の高い体制づくりに努めること。  
また、人口減少・少子高齢化の進展に伴い、地域の繋がりの希薄化や地域の担い手不足が懸念される中、住民活動や地域コミュニティの維持、移住・定住の促進による地域活性化に向けた取組を重点的に推進すること。
4. ポストコロナ社会での社会状況を注視しつつ、必要に応じて総合的な対策に取り組むこと。  
また、自治体DXを推進し、デジタルの力を最大限に活用して住民目線の持続可能な新しいまちづくりに努めること。
5. PDCAサイクルの考え方にに基づき、進捗管理と効果検証を不断に行い、厳しさを増す行財政運営の中で本計画に掲げられている目標が効率的かつ着実に具現化するよう努力すること。